

事業所名		キッズあみーるD o				支援プログラム（参考様式）		作成日		2025 年		2 月		28 日	
法人（事業所）理念		豊かな心を持ち、輝きのある生き方を求め、地域に貢献出来る運営につとめます													
支援方針		発達についての支援が必要なお子さまに、日常生活を送るために必要な動作の習得や集団生活に適応できるよう、また、個々の能力を適切かつ効果的に保育的なかわりを通して「指導」及び「療育」を行うことを目的とします													
営業時間		平日	14 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし						
		学校休業日	10 時	0 分から	16 時	0 分まで									
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	・日々の検温や健康状態の様子観察を行います ・毎日、掃除や換気、空調の調整をして感染症対策に努めています ・学習する場所、活動する場所、おやつを食べる場所などを視覚支援及び構造化でわかりやすくする事により、見通しを持って過ごして頂きます ・宿題や自己学習→自由時間→プログラム参加のリズムを作ります ・各々の荷物（かばんや衣服）の自己管理をする事により、自己責任能力を高めて頂きます ・事業所内でおやつを食べた後の後片付け（皿洗い・テーブル吹きなど）を子ども達で行い、自主性を芽生えさせます ・お買い物学習、外出での電車の乗り方や切符の買い方などを学習します													
	運動・感覚	・室内での運動プログラムを通じて自然と運動能力が上がるサポートを行います ・靴紐の結び方、正しいお箸の使い方を作業療法士監修のもと取り組み、手指の巧緻性を高めていきます ・学習時などに正しい姿勢を取り、集中力向上のきっかけを作っていきます ・感覚が過敏なお子さんには視覚的構造化を用いたり、イヤーマフなどを貸し出して環境調整を行います													
	認知・行動	・タイムタイマーやスケジュール表を用いて、まずは視覚的に認知機能の発達に繋げていきます ・ビジョントレーニングに取り組み、視空間認知能力を向上させます ・毎回、宿題や自己学習をやり遂げて、達成感を感じて頂きます ・プログラムや自由時間などでパズルやブロックを使う事により想像力や表現力、空間認識力や立体の把握の向上をさせていきます													
	言語コミュニケーション	・言語聴覚士との言語療法を通じて、お子さんごとの問題点を改善していきます ・事業所で過ごす中で友達や職員と関わりを持って過ごす事で日常会話のスキルと社会的な適応力を養います ・発語が難しいお子さんには文字カード、ジェスチャーなどの非言語コミュニケーションを用いて、伝わる喜びを繰り返して、発語に繋げていきます ・2 語文、3 語文の形成や文字の読み書きのサポートを行います													
	人間関係社会性	・S S T（ソーシャルスキルトレーニング）を通してより良い人間関係と社会性を身につけて頂きます ・外出を通じてルールやマナーを経験する事により社会性を身につけて頂きます ・プログラムや自由時間を通じて、より良い人間関係の構築していきます（良いことをした時には褒めて自己肯定感を育み、良くない事をした際には直ぐに職員が注意をして、何がいけなかったかを一緒に考えて理解してもらいます） ・感情のコントロールが出来るように1人で気持ちを静かに収めれるようにサポートを行います													
家族支援		・主に同一法人の相談支援専門員との定期的な支援会議や支援内容の調整 ・定期的に面談を実施して、学校での悩みや家庭での育児、進学などについてのアドバイスをを行っています ・お子さんの様子をL I N Eを活用して写真や動画を送る事により、連絡帳の文面や送迎時で口頭で伝えきれない部分をカバーしています					移行支援		・移行先への支援方法についての助言及び協力 ・進路先への情報共有 ・地域の社会資源などの情報を提供						
地域支援・地域連携		・地域のイベントに参加して交流を図る ・あみーる演奏会をピッコロシアターで開催して、地域との繋がりを深めています					職員の質の向上		・研修計画に基づいて、感染症対策・障がい特性・虐待などの研修を実施しています ・個々の能力を伸ばす為に外部研修（オンラインを含む）への参加						
主な行事等		・あみーる演奏会（近隣のピッコロシアターにプロの音楽家を招いて地域交流を図る） ・季節行事（初詣、お誕生日会、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、忘年会など）													